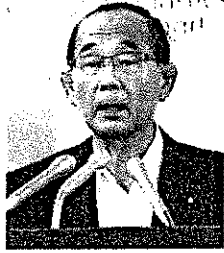


9/11  
原不

# 原発処理水「放出の他ない」

東京電力福島第一原発で増え続ける汚染水を浄化した後の処理水に関し、原田義昭環境相は十日の記者会見で「所管外ではあるが、思い切つて放出して希釈する他に選択肢はない」と述べた。写真。海洋放出計画の有無に懸念を示す韓国政府に、「国によっては意見が出ると思うが、誠意を尽くして説明することが何よりも大切だ」としたほか「政府全体で慎重に議論されると思う」とも付け加えた。



回答しており、原田氏の発言が波紋を広げる可能性もある。

菅義偉官房長官はその後の記者会見で「処分方法決定の事実はない。政府小委員会では議論を尽くし、しっかり検討を進める」と述べた。発言に個人の見解と承知している。

原田氏は海洋放出に言及した理由について、第一原発敷地内に立ち並ぶ処理水保管タンクを視察したことや、原子力規制委員会が放出案を支持している点を挙げた。韓国を念頭に「国によっては意見が出ると思うが、誠意を尽くして説明することが何よりも大切だ」としたほか「政府全体で慎重に議論されると思う」とも付け加えた。

政府小委では八月、長期保管の可否についても本格的な議論を開始。福島県の漁業関係者らは風評被害を心配し海洋放出に反対している。

東電は、第一原発敷地内で保管タンクの容量が二〇二二年夏ごろに満杯になるとの見通しを示している。

東電は、第一原発敷地内で保管タンクの容量が二〇二二年夏ごろに満杯になるとの見通しを示している。